

## 令和元年度における活動報告等について

### 1. 災害に伴う対応について

#### 【令和元年度における主な災害対応】

#### (1) 令和元年9月8日 台風15号への対応について

##### ①本市の体制

災害警戒本部は設置せず、各部局対応

##### ②気象情報

9月8日 (日)	17時02分	大雨警報(浸水害)・暴風警報	発表
	20時42分	大雨警報(土砂災害)	発表
9月9日 (月)	2時51分	洪水警報	発表
	4時08分	土砂災害警戒情報	発表
	8時00分	土砂災害警戒情報	解除
	8時16分	洪水・暴風警報	解除
	10時24分	大雨警報	解除

総雨量 118.0 mm      時間最大雨量 28.0 mm      最大瞬間風速 46.8 m/s

##### ③被害状況

- ・人的被害                      軽傷4名
- ・住家被害                      全壊なし、半壊4棟
- ・その他被害                    倒木                      多数(電柱の倒壊含む)  
道路冠水によって立ち往生した車からの救出案件      2件

##### ・停電状況(東電HP情報)

9月9日(月) 午前4時09分 約30,100件(最大)

正午                              約17,100件

午後2時54分 約17,100件

→熱帯夜、熱中症対策として、停電避難所を開設

開設場所 21時まで 各コミュニティセンター

21時以降 横須賀アリーナ

(10日(火)午前8時30分まで)

9月10日(火)子安地区の停電が続いたため、避難所を開設

開設場所 21時まで 各コミュニティセンター

21時以降 西コミュニティセンター

(11日(水) 午前8時30分まで)

9月11日(水) 汐入町5丁目地区の停電が続いたため、避難所を開設

開設場所 21時まで 各コミュニティセンター

21時以降 逸見コミュニティセンター

(12日(木) 午前8時30分まで)

避難者数 計 29世帯 49人

・自主避難所対応状況

開設日時 9月8日(日) 17時15分

開設場所 行政センターに併設する9コミュニティセンター

(追浜・田浦・逸見・衣笠・大津・浦賀・久里浜・北下浦・西)

避難者数 最大で計23世帯 52人

コミセン名	世帯数	人数	コミセン名	世帯数	人数
追 浜	0	0	浦 賀	3	6
田 浦	1	2	久里浜	2	3
逸 見	3	4	北下浦	3	6
衣 笠	3	8	西	3	6
大 津	5	17			

閉鎖日時 9月9日(月) 14時00分

(2) 令和元年10月12日 台風19号への対応について

①本市の体制

災害警戒本部 10月11日(金) 21時00分 設置

10月14日(月) 8時30分 解散

②気象情報

10月12日 (土)	6時23分	大雨警報(土砂災害)・暴風警報	発表
	9時28分	洪水警報・高潮警報	発表
	9時35分	佐島3丁目の一部(25世帯)へ避難勧告	
	23時21分	高潮警報	解除
10月13日 (日)	3時37分	大雨警報(土砂災害)・洪水警報 暴風警報	解除
	6時00分	避難勧告	解除

総雨量 132.0mm 時間最大雨量 22.0mm 最大瞬間風速 47.0m/s

③被害状況

- ・人的被害 軽傷 2 名
- ・住家被害 全壊なし、半壊 1 棟  
半壊に至らない、屋根の破損等は多数発生
- ・その他被害 倒木 多数  
道路通行止め（越波による） 市内 7 か所

・停電状況（東電HP情報）

10月12日（土）21時14分 約22,300件（最大）

・自主避難所対応状況

開設日時 10月11日（金） 12時00分

（総合体育会館は12日（土）8時30分から、南体育館は  
12日（土）20時00分から開設）

開設場所 16 コミュニティセンター、総合体育会館及び南体育館

（追浜、田浦、長浦、逸見、三春、衣笠、池上、浦賀、  
鴨居、大津、久里浜、岩戸、北下浦、西、長井及び武山）

避難者数 最大で計793世帯1,598人（10月12日（土）21時00分）

コミセン名	世帯数	人数	コミセン名	世帯数	人数
追 浜	25	41	大 津	63	116
田 浦	30	60	久里浜	71	171
長 浦	24	73	岩 戸	35	62
逸 見	22	34	北下浦	76	150
三 春	25	43	西	72	90
衣 笠	68	152	長 井	45	70
池 上	21	38	武 山	33	63
浦 賀	35	76	総合体育会館	122	300
鴨 居	23	54	南体育館	3	5

閉鎖日時 10月13日（日） 9時00分

## 2. 令和元年台風15号・19号における被災地への支援について

### (1) 経緯

令和元年台風15号が関東地方を通過し、本市も含め近隣自治体も被災している中、市長からの指示により、東京湾を挟んで「お隣」である富津市、鋸南町、及び館山市に対して物資提供の要否を確認し、富津市及び館山市から緊急支援要請を受けたため、支援物資を届けました。その事を契機として、千葉県内の自治体に対し、職員派遣やごみ収集など、必要な支援を行いました。

また、令和元年台風19号においては、日本水道協会神奈川県支部長（川崎市上下水道局）を通じて相模原市への応急給水の応援要請があり、職員を派遣しました。

### (2) 千葉県富津市への支援

#### ①物資提供【9月14日（土） 危機管理課】

緊急支援要請を受け、アルファ化米（1,500食）を提供しました。

#### ②職員派遣【9月30日（月） 税務部】

派遣要請を受け、住家被害認定調査業務を行うため、9月30日（月）から10月4日（金）まで4人の税務部職員を派遣しました。

### (3) 千葉県館山市への支援

#### ①物資提供【9月15日（日） 危機管理課】

緊急支援要請を受け、ブルーシート（450枚）を提供しました。

#### ②災害廃棄物処理支援【9月23日（月） 資源循環部】

ごみ収集車（2トン車）を9月23日（月）から10月24日（木）のうち延べ10日間館山市へ派遣し、主にふとん等の可燃ごみを回収して横須賀市南処理工場に運搬して焼却処理しました。

### (4) 千葉県鴨川市への支援

#### 災害廃棄物処理支援【9月23日（月） 資源循環部】

ごみ収集車（2トン車）を9月23日（月）から10月10日（木）のうち延べ4日間鴨川市へ派遣し、主にふとん等の可燃ごみを回収して横須賀市南処理工場に運搬して焼却処理しました。

#### (5) 千葉県鋸南町への支援

災害廃棄物処理支援【9月25日(水) 資源循環部】

ごみ収集車(2トン車)を9月25日(水)から9月29日(日)のうち延べ4日間鋸南町及び鋸南地区環境衛生組合へ派遣し、主にふとん等の可燃ごみを回収して横須賀市南処理工場に運搬して焼却処理しました。

#### (6) 千葉県南房総市への支援

①職員派遣【10月7日(月) 税務部】

派遣要請を受け、住家被害認定調査業務を行うため、10月7日(月)から10月11日(金)まで3人の税務部職員を派遣しました。

②災害廃棄物処理支援【9月30日(月) 資源循環部】

ごみ収集車(2トン車)を9月30日(月)から10月23日(水)のうち延べ11日間南房総市へ派遣し、主にふとん等の可燃ごみを回収して横須賀市南処理工場に運搬して焼却処理しました。

※災害廃棄物処理支援の集計

・派遣日数

23日間(延べ日数) ・派遣職員数 173人

・派遣台数 86台 ・収集運搬ごみ量 109トン

#### (7) ボランティア支援

災害ボランティアへの支援【9月21日(土) 港湾部】

災害ボランティアに駆け付けたい市民を支援するため、令和元年9月21日(土)から10月27日(日)までの間、東京湾フェリーの乗船料金を市が支援しました。

#### (8) 相模原市への支援

職員派遣【10月14日(月) 上下水道局】

応急給水の応援要請を受けたため、10月14日(月)と10月15日(火)の2日間、相模原市に職員6人を派遣し、給水車2台での応急給水活動を行いました。

### 3. 各種訓練の実施

#### (1) 横須賀市総合防災訓練

令和元年度における総合防災訓練は、10月20日(日)に実施予定でしたが、参加予定であった各機関の多くが被災地対応することとなったため、中止いたしました。

#### (2) 原子力艦船を対象とした横須賀市原子力防災訓練

##### ○ 訓練目的

国の「原子力艦の原子力災害対策マニュアル」をもとに、対処能力の向上と原子力防災に関する意識の啓発を図る。

##### ○ 実施日・実施場所

令和2年2月5日(水) 於：プランヴェール横須賀汐入自治会周辺及び市立桜小学校

##### ○ 訓練参加機関

プランヴェール横須賀汐入自治会、桜小学校、原子力規制庁、神奈川県警察、横須賀市

【訓練参加人数 313名】

##### ○ 訓練項目

- ・ 広報車による屋内退避広報と、その内容に従った住民の屋内退避訓練
- ・ 通行人の避難誘導訓練及び汚染検査訓練
- ・ 安定ヨウ素剤(水薬)配布のデモンストレーション
- ・ 児童の校庭から教室への屋内退避訓練

#### (3) 日米合同原子力防災訓練

##### ○ 訓練目的

原子力艦での事象に対し、横須賀市及び在日米海軍、関係機関が一体となって対応にあたることで、関係機関の連携強化及び対処能力の向上を図り、市民生活の安全安心を確保する。

##### ○ 実施日・実施場所

令和元年11月20日(水) 於：市災害対策本部室、米海軍横須賀基地内

##### ○ 訓練参加機関

外務省、内閣府、原子力規制庁、防衛省、海上保安庁、海上自衛隊、神奈川県、神奈川県警察、横須賀共済病院、米海軍、米国大使館、横須賀市

【訓練参加人数 196名】

○ 訓練項目

三浦半島断層群を震源とするマグニチュード6.8の地震が発生したという想定（震度6強・市内全域停電・津波なし）の下、次項の訓練を実施

- ・市災害対策本部室を中心とした日米間の情報伝達・共有訓練
- ・市民が必要とする情報を的確に発信するための広報訓練
- ・基地内従業員への連絡・通報訓練
- ・負傷者対応訓練
- ・日米合同モニタリング訓練

（4）核燃料加工施設を対象とした横須賀市原子力防災訓練

○ 訓練目的

原子力関連施設（㈱GNF-J）における事故発生を想定し、周辺住民の避難訓練等を行い対処能力の向上と原子力防災に関する意識の啓発を図る。

○ 実施日・実施場所

令和元年10月15日（火） 於：クリオ久里浜自治会（佐原4丁目）周辺

○ 訓練参加機関

クリオ久里浜自治会、久里浜工業団地部会、㈱GNF-J、原子力規制庁、神奈川県警察、横須賀市

【訓練参加人数 35名】

○ 訓練項目

- ・クリオ久里浜自治会屋内退避訓練
- ・久里浜工業団地部会従業員の避難誘導訓練
- ・原子力防災についての講話